

都市再生整備計画 事後評価シート  
高崎市中心市街地地区

平成27年11月

群馬県高崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	高崎市	地区名	高崎市中心市街地地区		面積	175.0 ha
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	1,688.1 百万円	国費率	0.45	

1) 事業の実施状況			事業名							
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活基盤施設(まちなかサイン整備事業、高崎駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業)</li> <li>・高質空間形成施設(区画道路7号線歩道景観整備事業、お濠周辺修景施設・歩道整備事業)</li> <li>・高次都市施設(複合交通ターミナル整備事業)</li> <li>・土地区画整理事業(高崎駅周辺(西口)地区)</li> </ul>							
		提案事業	・なし							
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業	基幹事業	・高質空間形成施設(飛龍の松周辺整備事業)			・当初、本整備事業と一体的に行われる予定であった、広場北の県道地下埋設物(電気、電話)移設工事スケジュールが延期され、広場単独の事業遂行が不可能となったため。			・まちなか散策を誘導する主要施設であることから、来街者利用を想定した「指標2」への影響がありうるが、数値は据え置くものとする。	
提案事業		・なし								
新たに追加した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活基盤施設(高崎公園・烏川緑地間人道橋整備事業)</li> <li>・高質空間形成施設(高崎駅東口駅前広場緑化整備事業)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎公園と緑化重点事業地区である烏川左岸緑地とを徒歩で結ぶルート整備に関し、市民より強い要望があったため。</li> <li>・市民からの寄贈である記念時計台の周辺と合わせ、高崎市東玄関である東口駅前広場の修景化が強求められたため。</li> </ul>			・人道橋整備は、広域的なまちなか回遊性に関連し「指標2」への貢献が期待できるが、数値は据え置くものとする。		
	提案事業	・なし								
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-			
	変更	-								

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	高速バス乗り入れ便数	便/週	35	H22	42	H27	-	31	×	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初指標設定時(H22)より、計7便が運休となっており、本計画段階では、定量化する指標としての選択が妥当であったとは言えない。</li> <li>・2015/3/14に開通した北陸新幹線金沢ルートの影響によって、将来的な増便も予想されるが、近年中の目標達成は困難と判断される。</li> </ul>	H29/4
指標2	中心市街地循環バス利用者数	人/日	74	H22	89	H27	-	158	○	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20分おきに運行される利便性が極めて高く評価され、当初指標の2倍以上で、目標値を大きく上回る成果が得られた。</li> </ul>	H29/4

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												

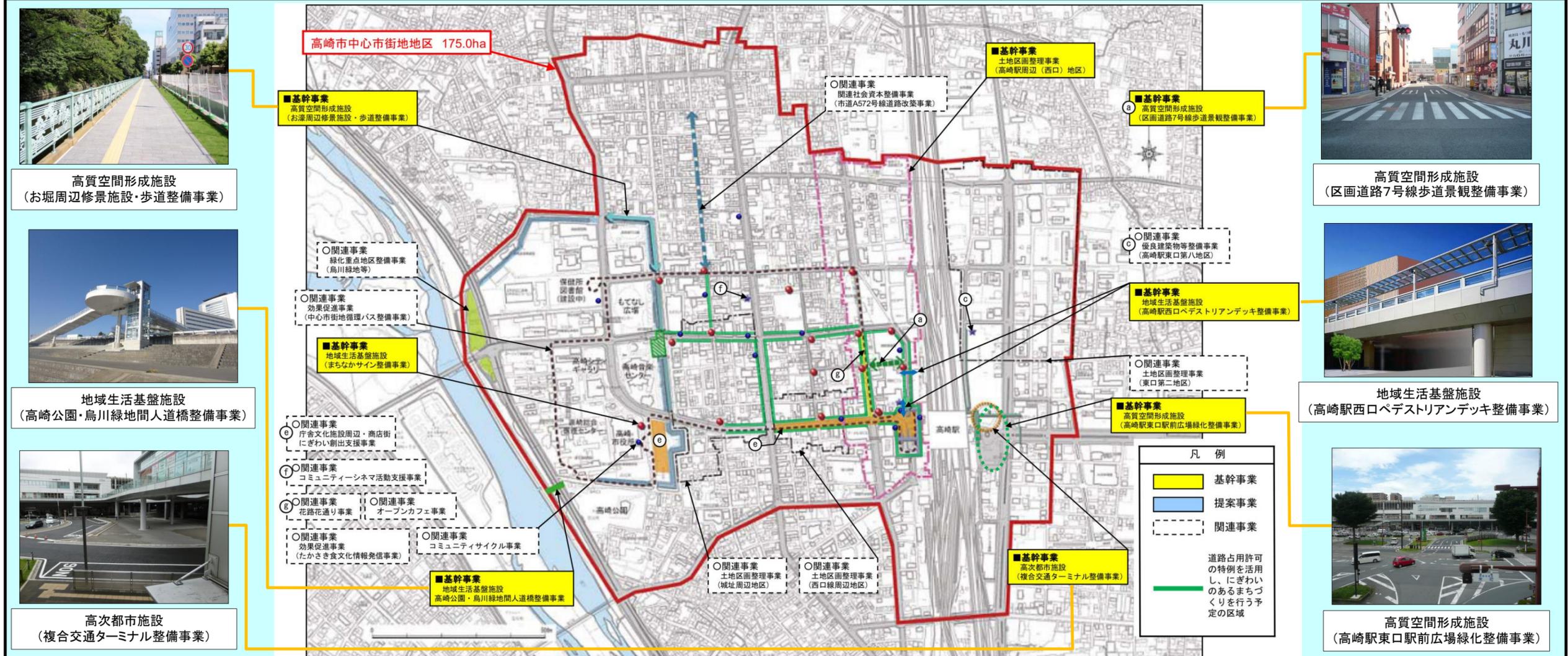
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎駅周辺の基盤整備が進み、清潔で美しい都市景観が形成されている。</li> <li>・城址お濠張出し歩道や烏川人道橋など、水辺に親む歩行ルートが整備されたことにより、朝夕の散策者が増加し、市民の健康増進に寄与している。</li> </ul>											
---------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等	
	モニタリング	・事業担当部署間のミーティング	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	・事業期間中のモニタリングを明確に位置づけ、所定様式に則り開催する。
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎まちなかオープンカフェ推進協議会の活動</li> <li>・高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会の活動</li> </ul>	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	・本地区は、高崎中心市街地商業活動のコアにあり、地域と協働した「おもてなし」の質的向上を図る方針である。
	持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎まちなかオープンカフェ推進協議会の活動充実</li> <li>・高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会の活動充実</li> </ul>	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	・放置自転車とまちなかの自転車事故を撲滅するため、利用者のモラル向上を目的とした啓蒙活動を実施する。

## 様式2-2 地区の概要

### 高崎市中心市街地地区(群馬県高崎市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【目標1】広域圏からの来街者の増加 複合交通ターミナルの整備などにより、新幹線・高速自動車道の広域ネットワークの結節点である機能を一層強化し、広域圏からのアクセス性を高め、来街者の増加や商業施設の集積によるまちなか再生を図ります。	高速バス乗り入れ便数	単位： 便/週	35	H22	42	H27	31	H27
	中心市街地循環バス利用者数	単位： 人/日	74	H22	89	H27	158	H26
【目標2】まちなか回遊性の向上 お堀周辺の歩道やコミュニティ道路等、まちなかサインの整備を促進し、快適で便利な歩行空間を創出するとともに、オープンカフェ、コミュニティサイクルに取り組みすることで、自由度の高い回遊性と心地よい時間を体感できる中心市街地の形成を目指します。		単位：						
		単位：						



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>高崎駅東口駅前広場ペDESTリアンデッキの整備で、階段移動や幹線道路横断が減るなど、高崎駅中央通路を挟む東西ルートでの歩行者移動に関し、相当の改善が図られた。</li> <li>東口に比較して、西口ペDESTリアンデッキが駅上部の点的なものであることと、デッキそのものの質的低下も進んでいることから、まちなかへの誘導ルートとしては、機能が不十分な状況である。</li> <li>西口では、駅前核店舗が閉店したことによる歩行者(買い物)通行量の激減が見られる一方、オープンカフェを開催した駅の北西エリアでは、歩行者の著しい増加が生じるなど、歩行ルートの二極化の傾向もある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高崎駅中央通路をキーポイントとしたフラットで直線的な歩行環境を充実させ、駅東西エリアの「人・もの・情報」の交流を一層促進させる。</li> <li>高崎駅周辺の公益施設へのアクセス性を充実し、「まちなかへ訪れたい(買い物、飲食、娯楽)へつながるインセンティブを向上させる。</li> <li>集客施設やまちなかの滞留施設を整備して回遊環境の質的充実を図り、散策者数の増加に代わって、訪れた際の滞留時間が延長されるような、居心地のよいまちなかを創出する。</li> </ul>